Kamagaya International Friendship Association

K·I·F·A Plaza

第55号

2007年（平成19年）３月７日
発行：鎌ケ谷市国際交流協会
〒273-0195 鎌ケ谷市初富928-744
TEL　047-445-1141（内550）
FAX　047-441-9400
http://www.kifa.gr.jp

鎌ケ谷四中に　KIFAから外国人10人派遣

生徒が企画した授業
「ビデオ上映」「縁日遊び」で　理解を深めた

日本の味・緑茶を体験

メレンゲ・ダンスを楽しむ

派遣された6か国・地域の外国人が「それぞれのお国」の紹介をした

「日本の遊び、外国の遊び」で国際交流

「日本の遊び、外国の遊び」をテーマに、鎌ケ谷四中で、１月30日（火）の午後、国際交流の楽しいひとときを過ごした。四中の２年生119人がみんなで企画し、準備し、発表し、運営する国際交流の授業に、招待を受けた鎌ケ谷市国際交流協会（ＫＩＦＡ）は、外国人講師10人とボランティア・スタッフ５人を派遣した。

◎自作自演の力作ビデオ

全員体育館に集まり、女子生徒２人の英語の司会で授業はスタート。３部構成の初めは、ビデオ・タイム。

その第１作目は『日本のお正月』。鏡餅、お節料理、お年玉、初詣などを撮った、典型的な日本のお正月風景。第２作目は『日本の中学生生活』。各クラス競作のビデオ・レター形式で、撮るほうも、出演者もみんな生徒たちだ。内容は①和食と和菓子で「和」の紹介②スクール・ランチ（給食）の紹介③クラブ活動紹介④体育祭。

それぞれ力作で、生徒たちの演技やナレーションも光っていた。10人の外国人講師も、最初は不思議そうな顔、そして内容を理解して、笑顔に変わった。

◎「ぜひ、わが国に来て！」

第２部はＫＩＦＡタイム。６つの国と地域出身の外国人講師（中国３、ペルー２、台湾２、ドイツ、オランダ、シンガポール各１人）が、それぞれ「お国」を紹介。

「オランダは、チューリップと木靴と風車で有名です」。「中国は、日本に比べて人口が13倍、面積が26倍あります」。「ペルーは、その中国の裏側にあります。自由が売り物の国です」など。お国自慢が続いた。

生徒たちは体育館の床に座り、耳を傾けていた。「チャンスがあったら、ぜひわが国に来てください」のアピールに、将来の国際交流に夢を描いたことだろう。

◎熱のこもったダンス指導

第３部は、縁日タイム。ヨーヨーつり。射的（ゴム鉄砲）。パター・ゴルフ。わなげ。これらのコーナーが四中生の準備で体育館内に設置され、各クラスで担当した。縁日では馴染みの日本の遊びに、外国人講師たちが参加し、眼の色を変えて取り組んでいた。生徒たちも英語を交え、懸命に説明していた。お互い意思は通じただろうか？　また、茶道協会による「お茶席」や２学年保護者による「駄菓子」コーナーも設けられ、多くの外国人講師や生徒が集まっていた。

フィナーレは、ペルーのフリオさん夫婦のメレンゲ・ダンス指導。派手なアクションの熱烈指導に、生徒たちも始めは少しテレ気味だったが、次第に調子が出てきた。生徒のお揃いのブルー・ジャージーが躍動した。

みんな楽しい、思い出に残る国際交流の一日だった。

晴れやかに１年の成

2006年度KIFA

学ぶ人はみな美しく輝く――この1年30回の授業に通った老若男女、高校生から60代後半の熟年生まで一堂に集い、晴れやかに修業の成果を披露した。06年度・語学研修講座の合同閉講式が、立春の2月4日（日）に鎌ケ谷市総合福祉保健センター6階ホールで開かれた。

＊「ミナサン、タイヘンヨク　ベンキョウ　シマシタ」

この日、閉講式を迎えた４講座の全受講者は85人、うち出席者は54人。始めに英語Ａ（講座を担当されたジェッシー・ナイカネン先生は所用で出席できず）代わりにダスティン・コルター先生、英語Ｂのアリシア・ブランド先生、中国語の范暁耘先生、ハングルの李賢貞先生から、それぞれ「ミナサン、タイヘンヨクベンキョウシマシタ。トテモタノシイクラスデシタ。コレカラモ、ツヅケテクダサイ」と、お褒めの言葉をいただき、各クラスの代表者は感謝の花束を先生方に贈った。

＊継続は力なり、12人の受講生が皆勤賞

続いて、約30講座を一度も休まず皆勤した優等生の12人に、酒井哲郎会長からそれぞれに記念品が贈られた。

皆勤賞の皆さんは次の通り（敬称略）。英語Ａ・３人＝千葉つや子、鬼頭祐子、松本美佐子。英語Ｂ・２人＝御幸寿美、御藤田長生。中国語・２人＝岡鉄海、吉田稔。ハングル・５人＝渡辺尚武、高棹恵子、中澤留美子、中村昌寛、赤塚登美子。

さらに、「日本語ボランティア」の方々が紹介され、担当者から参加と協力への呼びかけが行われた。日本語教室は、ＫＩＦＡの活動の中でも、最前線の役割を担っている部門で、毎週火曜日の夜７時30分から、市内および近郊に住む外国人に、正しい日本語を教えている。

＊楽しいティータイムのひととき

この後、クラスごとに先生を囲んでお茶とお菓子をいただき、一年間の思い出を語らう懇談のひとときとなった。初めて年間30講座を開いたハングルの皆さんが、一番出席者も多いようで、前年の半年講座からのリピーターが多いこともあって、李先生を中心にひときわ盛り上がっている。

＊スピーチと歌とクイズで学習成果発表会

さあ、一年間の成果を披露する発表会が始まった。

舞台には英語Ａの皆さん、全員が赤い上着で並んだ。中央に黒一点、ひときわ長身のコルター先生がいる。ショートスピーチのあと、カーペンターズの「トップ・オブ・ザ・ワールド」「シング」のハーモニーが流れた。

次はハングルの皆さん。こちらは全員が白い上着。ハングルと日本語を交互にショート会話。道を聞く、電話を掛ける、飲み物を選ぶなど、達者なハングルが次々に話された。最後は合唱、韓流ドラマ「冬のソナタ」のテーマが会場に流れた。

今度は英語Ｂ。全員がアリシア先生にお礼のスピーチ後、２つのパートに別れ「ユー・アー・マイ・サンシャ

左から李賢貞、范暁耘、アリシア、コルターの各先生

30講座皆勤の皆さんを表彰

英語Ａ、お揃いの赤い服で熱唱

ハングルは「冬のソナタ」を合唱

英語Ｂの全員がアリシア先生に感謝

果を披露
語学研修講座閉講式

2007年度KIFA語学講座（予定）

講座名	講　師	曜日・時間	会　場
英語Ａ	Ｄ・ヘネベリー	火　13:00～14:30	くぬぎ山コミュニティーセンター
英語Ｂ	Ｊ・チェネリー	木　19:30～21:00	北中沢コミュニティーセンター
中国語	范暁耘	金　10:00～11:30	南部公民館
ハングル	李賢貞	水　13:00～14:30	中央公民館

＊各講座25名（応募多数の場合、抽選）。合同開講式は5月20日です。
日程、会費、応募方法などの詳細は、4月1日の「広報かまがや」に掲載。

日本語教室の〝先生と生徒〟

中国語は「二者択一クイズ」

イン」「トップ・オブ・ザ・ワールド」を披露。

そして、日本語教室に学んだ外国の友だち。ベトナムから来た青年、フイリピンの２人の女性、中国の学生。みな上手な日本語で、生活のことや好きな食べ物など話したあと、「世界に一つだけの花」を歌ってくれた。

最後は中国語の皆さん。出席者全員を巻き込むクイズ作戦に出た。舞台に３つのパネルを用意、日本語でよく知っているモノや言葉などを、似た様な漢字や正しい発音を二者択一で選ばせ、会場参加者をふるい落とし、最後まで正解を続けた４人に賞品が渡された。

立春とはいえ、風の冷たい一日だったが、ホールの中は学び続ける人たちの、熱い息吹に満ちていた。

2回連続『KIFA英会話サロン』開催！

外国の文化・生活をテーマに English only の会話を楽しむ

「また英会話サロンを開いてほしい」

06年２月に、鎌ケ谷市国際交流会（ＫＩＦＡ)初の『英会話サロン』のあとに参加者の多くから、こんな声があがった。この希望に応える形で、同年12月10日（日）に『英会話サロン』が総合福祉保健センターで再開された。

この日の参加者は25人。ＫＩＦＡからの挨拶、司会のルール説明、場内の会話、すべてEnglish onlyだったことは言うまでもない。初めにゲスト外国人講師３人が紹介され、それぞれが以下のような内容の５分間スピーチ。

「カナダを語るのに、一つを選んでしゃべるには難しい」と、カナダ人のデレック・スミスさん。『ストーリー・オブ・ツリー』が彼のテーマ。ツリーとは、カナダを象徴するトーテムポールのことで、それは文字を持たなかったカナダ先住部族の重要な伝達手段だったことを、説明しはじめる。

「オークランドのスカイタワーを知っていますか？」と語りかけたのは、ニュージーランド女性のレネーさん。南半球でもっとも高い328メートルの塔は、風速200キロの強風にも耐えられる、と若者らしいテーマでお国自慢。

「私の故国のクリスマスは厳粛そのものです」と言うのは、ドイツ出身のアネッテ植松さん。日本とは違う風習、ツリーやプレゼント、音楽も解説。

そのあと、３グループに分かれた参加者が、それぞれに３人のゲストを囲んで、楽しく英語で語り合う１時間30分の『英会話サロン』がもたれた。

この２カ月後、本年２月17日（土）には、さらに『英会話サロン２』が開催された。中央公民館に場所を変え、参加者も30人と増員した。ゲスト講師（敬称略）とテーマは以下の通り。

カーク・ジョンソン『地雷』／中山聡子『中国のお正月』／デレック・スミス『北極熊』。この日も活況を呈し、ＫＩＦＡの人気企画になりつつある。

デレックさん

アネッテさん

レネーさん

カークさん

中山さん

国際交流・異文化理解は草の根の小さな輪から――鎌ケ谷市国際交流協会（KIFA）は、市内および近隣在住の外国人との交流・親善を目的としたイベントを通じ、広く市民レベルでの触れ合いを深める諸活動を行っています。すべて会員とボランティアの手によって運営されています。その組織と日常活動を特別リポート！

参加しよう!! ボランティアで

執行部・事務局

●執行部

会長１人、副会長２人、会計２人で構成され、協会の活動を円滑に推進するために、総括的な役割を果たしています。総会・理事会・運営委員会の招集・ＫＩＦＡ全体の会計などを行い、各部会・委員会が行うすべての事業が、協会の規約に基づき円滑に行われるよう配慮しています。

また、執行部は研修部会・交流部会が企画・実施している事業とは別に、鎌ケ谷市国際交流パーティー（ＫＩＦＡパーティー）、市民夏祭りへの参加、通訳ボランティア派遣、外国人ボランティア講師派遣（市内幼稚園・小中学校・団体への国際理解・交流を目的とした授業・催し物への協力**＝１面参照**）、日本語講師派遣（外国からの生徒への日本語指導）などを行っています。

さらに、鎌ケ谷市とニュージーランド・ワカタネ市の姉妹都市提携をより友好かつ身近のものとするため、成人派遣（隔年のワカタネ市への成人派遣）、青少年派遣（高校生以上の学生を対象とした約１カ月間のホームステイ）の実施、鎌ケ谷市姉妹都市交流委員会への協力・参加をしています。その他、近隣市の協会とも交流も行っています。

鎌ケ谷市国際交流協会は1988年４月18日に設立され、創立20周年を迎えます。現在、さまざまな記念事業の準備を進めているところです。

この協会に関心をお寄せいただき、ぜひ会員（年会費＝一般2000円、学生・生徒1000円、家族5000円、法人・団体１口10000円）となって記念事業に参画してみませんか。

●事務局

協会事務局は市役所の３階にあります。事務局員がいつでも、お問い合わせ・相談に応じています。気軽にお寄り下さい。

〒273-0195　鎌ケ谷市初富928−744
電話・047−445−1141（内線550）
Fax・047−441−9400
ホームページ・http：//www.kifa.gr.jp

交流部会

交流部会はいろいろなイベントを通じ、市内および周辺に在住する外国人と、市民との交流を図っています。

○主な行事

春は「お花見バーベキュー」…日本人古来の風物詩・お花見に、野外バーベキューをミックスしたイベントです。各自持ち寄りの食材で、バーベキューを楽しみながら、参加の外国人たちと歓談したりゲームをします。

夏は「青少年国際交流事業」…昨年は10代の若者たちが企画し実行した「ウォ―クラリーとランチパーティ」でした。会場の貝柄山公園内のチェックポイントを回るラリー、外国のゲームを多くの若者たちが楽しみました**＝写真**。

これまでボウリング大会やミニハイクも行いました。

秋は「バスツアー」…応募参加した市民と外国人と一日バス旅行を楽しみます。昨秋は歴史の街・足利学校史跡を訪ねました。これまで、箱根や芦ノ湖の大自然、鎌倉の大仏や長谷寺など、日本の自然や歴史を見聞してきました。

冬は「外国家庭料理講習会」…毎年２カ国の外国人講師を迎え、そ
と一緒に、公民館の厨房
出来た料理をテーブルに
国のことについて歓談し
理とフィリピン料理でし

最近ではタイ、スウェ
国などの料理を体験調理

○新たな交流事業を検討

交流部会ではさらに新
谷市が外国の人々にとっ
いくためにテーマを定め
開催を検討しています。

広報委員会

情報発信と収集の基地・広報委員会――この見開き紙面で御覧のように、ＫＩＦＡでは年間を通じて、さまざまな文化活動、交流事業を展開しています。そしてすべてが会員はもとより、市民の参加を前提に開かれています。その事業活動を会員の皆さまに周知していただく、市民の方々に知っていただく――お知らせと報告が広報委員会の主な仕事です。

◆会報誌「KIFA Plaza」発行。

年４回（８ページ２回、４ページ２回）の発行です。各部会の事業計画からイベント実行日まで取材活動を通じ、話を聞き、写真を撮り、記事にします。

また、イベント取材に限らず、協会の目的と使命をより一層広く高めていくテーマ選び、企画取材し、課題や問題を紙面に載せていきます。

◆ホームページの運営

会報誌の回数・紙数の制約を超えて、協会活動を随時、市民と世界に発信しているのが、協会のホームページ《htt
です。昨年の４月から更
試みています。

もっと皆さんに親しん
ーナーとして①国際交流
交流体験（海外旅行に限
嬉しかったこと・困ったこ
失敗談など）の投稿を募
トルは仮称、具体的運営
の皆さんからのアイデア
局までメールでお知らせ

◆広報活動に参加しませ

写真を撮る。取材をする
ホームページの管理、デザ
ことに興味のある人の参

現在のスタッフは６人
編集の打ち合わせは随時
旅行体験、ブログのこと

仕事人間を卒業、時間
地域デビューの絶好の舞

その国の家庭料理を市民
房で何品か調理します。
に食べながら、料理やお
します。今年はペルー料
した（8面参照）。
ェーデン、イタリア、中
理しました。

討中

新たな試みとして、鎌ケ
って住みやすい街にして
り、定期的な交流サロン

研修部会

研修部会は「語学研修講座の開催、講演会などの企画。日本語教室」が主な事業、と鎌ケ谷市国際交流協会（KIFA）のガイドには紹介されています。日本語教室については、別枠で詳述してありますから、ここでは語学研修講座と講演会企画について説明します。

○毎週土曜日「子ども英会話」

現在、語学研修講座には英語A・B、中国語、ハングルの4講座があります。内容は本紙3面に記されていますが、いずれも年間約30回（含・開閉講式）、毎回1時間30分の講義が実施されています。各講座の講師は、それぞれのネイティブが担当しており、受講生はナマの外国語を学ぶことができます。

受講者は、原則として初心者優先ですが、講座によっては、リピーターも少なくなく、これを契機に国際交流に目を開く人たちも増えています。

また、小学校1～5年生を対象に子ども英会話「スマイリー・キッズ」を土曜日に開いています。本年度は5月26日から22回の予定です。

○好評「外国文化に親しむ会」

一方、講演会は「外国文化に親しむ」をコンセプトに、毎回、各国の講師や演技者を招いています。

04年6月「京劇鑑賞会」、同10月「インドネシア留学生のアンクルン演奏」。05年9月「パックン・マックンの英会話教室」、同11月「韓国文化に親しむ会」。06年10月「笑いについての講演と英語落語実演」＝写真。バラエティーに富んだ企画は、市民から期待され、支持もされています。これに06年2月から「英会話サロン」が加わりました（3面参照）。

これらの事業の企画・運営を、現在15人ほどいる研修部会のボランティアが担っています。研修部会は部会活動に積極的に参加・行動する新しいボランティアを求めています。

で支えるKIFAの運営と活動を紹介

文責・広報委員会

tp://www.kifa.gr.jp/》
更新回数を含め、刷新を

んでもらうための参加コ
流ひろば（意見交換）②
限らず外国人との交流で
こと・ビックリしたこと・
募集する予定です（タイ
営方法は検討中）。会員
ア、ご意見があれば事務
ください。

せんか

る。記事を書く。編集する。
ザインをする――こんな
参加をお待ちしています。
です。企画会議と取材・
時開きます。社会時評、
なども題材です。
間に余裕の出来た方々、
参台ですよ。

日本語教室

日本に来て間もない在鎌ケ谷市および近隣の外国人に、生活に役立つ日本語を教えよう。

毎週火曜日の午後7時30分～9時に、中央公民館で開講しているのが、研修部会所属の『日本語教室』＝写真。現在、日本語ボランティア24人が、教室の運営に当たっています。

日本語に取り組む外国人

外国人学習者は現在、登録30数人で、コンスタントに15～20人が熱心に教室で学んでいます。1年間40回、ほぼ通年で開講されています。会費は会員が年間1000円、非会員は1ターム10回1000円。日本語を初歩から学習したい外国人および知人の方は、ぜひ、KIFA事務局にご連絡ください。

最近では、中国人の方が増加傾向にありますが、タンザニア出身の男性も学習しています。テキストは『みんなの日本語』、世界の国から日本に来た学習者はそれぞれのレベルに応じてクラス分けされ、日本語に取り組んでいます。

通常の日本語講座のほか、特別学習会も行われています。06年の7月4日には『七夕』（参加者20人）、12月19日には『日本の正月遊び』（同49人）と日本の文化・風習を学び遊ぶ機会を設け、外国人学習者の人気を博しています。また日本の現在を知るため、春の校外学習会では浅草（06年）や渋谷（07年）などを探訪も。

今春から日曜教室スタート

日本語ボランティアの養成にも力を入れています。昨年5月から全10回の「日本語ボランティア養成講座Ⅱ」、10月には「日本語レベルアップ研修会」（参加者49人）を実施しました。ボランティア希望者の「教室見学」を歓迎！

また、日曜だから学習可能な外国人に、今春から新規に第2、4日曜日の午前10時30分～12時に『日曜日本語教室』（年20回予定）を開講します。いずれの問い合わせも、事務局まで。

サッカーとカーニバルの国で生まれ日本に来ました

世界最大の滝・イグアスの前で

黄地ホベルト啓二さん

私は日系ブラジル２世です。リオ（ブラジル：リオデジャネイロ州の州都リオデジャネイロ市の略称）から車で１時間ほど離れた、郊外の農場で生まれました。

＊私の生い立ち

私の祖先は日本からのブラジル移民です。

日系ブラジル人の歴史は、第一回の移民船が1908年６月18日（明治41年）南米大陸に着いたときから始まりました。父は約50年前に祖父と共に、南米大陸での農業を夢見てブラジルに渡りました。父たちは最初、アマゾンに入りジャングルを拓き、農業を始めましたが、決して楽な仕事ではなかったと聞いています。

その後、母が父の元へ海を渡って行きました。そして現在のリオデジャネイロ州で、農業を営むようになり、その農場で私は４人兄姉の末っ子として生まれました。

農場では、野菜全般とパッションフルーツ、バナナ、オレンジやズッキーニなどを栽培していました。私は収穫、草取り、木箱づくりや箱詰めなど、家の手伝いをしました。

来年、サンパウロ州で移民100年祭が行われます。ブラジル連邦共和国は1822年９月７日、ポルトガル共和国より独立し、多民族国家で言語はポルトガル語です。

小中学校は４年制で、午前・午後の選択制（高校は夜間もあります）になっています。高校は３年制で17歳で卒業です。18歳で成人になり、男性は２年間の兵役の義務があります。

＊日本に来て驚いたこと

平成元年に伯父の紹介で兄と愛知県に来ました。

テレビで観ていた日本は最先端技術の国、最新の建物が多いと思っていましたが、実際に日本に来て住んだところは、古い家並みが多く見られびっくりしました。

他にも驚いたことが沢山あります。

初めての雪、地震に始まり、上下水道が統一されていない点、品物の過剰包装、交通機関の時間の正確な点、天気予報の細かさ、などです。

＊結婚して鎌ケ谷に住む

その後千葉県に来て妻（日本人）と結婚し、二児の父となり現在、鎌ケ谷市に住んでいます。鎌ケ谷は自然や近所づきあいがまだ残っているところが、子育てにとても良い環境だと思います。

昨年のバスツアーには、家族４人で参加しました。とても楽しい思いをしました。

＊ブラジルの料理

フェイジョアダ＝どの家庭でも黒い豆（その地方により種類が異なる）の料理を毎日のように食べます。豚肉と煮込んだ塩味の料理です。

シュハスコ＝牛肉の固まりに岩塩を擦り込み、炭火で焼き、焼けた部分から少しずつ削って食べていく料理です。実家でも友人を誘って毎週食べていました。

＊サンバ・カーニバル

リオのサンバ・カーニバルは日本でも有名です。今年は２月17日から20日まで行われました。

カーニバルは1928年に始まり、その後コンクールが1932年に始まりました。この時期、ブラジル各地でカーニバルが行われますが、リオが一番盛大です。

ちなみに、リオでは一つのグループが2000～4000人で約14グループで競います。祭りが近づくにつれ、国全体がカーニバルムード一色、私が一番好きなシーズンです。

＊カリオカとサッカー

ブラジルといえばサッカーです。

国中で仕事が終わった後や週末、とにかく空いた時間があれば、クラブやサッカー場や空き地などでボールを蹴っています。海が大好きなカリオカ（リオ出身者のこと）は、砂浜でもやります。

ムイトオブリガード！（ありがとうございます）

街中が熱狂するカーニバル

定年記念 妻とトルコの旅

東西文明の十字路で歴史の重みを実感

関矢　忠良

一昨年の夏、会社勤務を卒業したので、秋の終わりに妻と７日間、世界遺産の国・トルコへ旅した。

写真上＝ブルーモスクの前でガイドのフラットさんと。右上＝エフェソス遺跡の中のセルシウス図書館（2世紀初期）、右下＝カッパドキアの奇岩群

平均年齢24歳の多民族国家

現地ガイドはMr. Flit（フラットさん）といい、トルコ人には珍しく身長193㌢もあり、彫りの深いなかなかハンサムな男性である。大学で歴史学を専攻したとかで、トルコの歴史にまつわる蘊蓄のある話を聞かせて貰った。

トルコが位置しているアナトリア（太陽の国の意味）半島は、地政学的に重要な（黒海―エーゲ海―地中海に面している）上に、豊穣な地ということで、東西の文明の十字路となり、これまでに38もの国家が建てられ、消えていった。中でも重要だったのは、やはりローマ帝国とオスマントルコ帝国であった。

現在のトルコは、初代大統領ケマル・アタチュルクの卓越した政策により、他の先進国に比べると、若く発展性を秘めた国となっている。イスラム国家でありながら、政教分離策を採ったことが大きかったという。人口は7300万人、欧州でドイツに次いで２位となっている。

国民の平均年齢は24歳で、60歳以上が人口に占める割合は3.4％しかないという。何よりも高校生が1800万人も居るというから驚く。世界一の少子高齢化の日本とはまったく逆で、若いエネルギーの溢れる国といえる。また43の人種で構成されている多民族国家でもある。

国中に遺跡が埋まっている

トルコ観光の目玉の一つが「トロイの遺跡」である。紀元前3000年から紀元400年までの間、繁栄・衰退を繰り返してきた都市国家。トロイには９層の都市遺跡群が残されている。何故９つもの都市が出来たのか？　アナトリア半島の西端に位置し、エーゲ海を見下ろす要衝の地であったため、前の都市が風化した後に、また次の都市が建てられたのだという。

巨石群から成る遺跡と有名な「トロイの木馬」の復元されたものを見る。それほど大きくもない丘から次々と遺跡が見つかったということで、いかに戦略的に重要な場所だったかということが改めて想い起こされる。

奇岩群で有名な観光地のカッパドキア。私は趣味で油絵を描くから、絵のテーマを沢山仕入れようと期待して行った。とても自然現象とは思えぬ奇観には圧倒された。

城砦都市・イスタンブール。一つの街がボスポラス海峡を隔ててヨーロッパとアジアに分かれている。東西文化融合の象徴的な都市である。キリスト教徒が支配していたときはコンスタンチノープルと呼ばれ、イスラム教徒のオスマントルコが陥落させて、イスタンブールと改名され遷都された。ここにあるアヤ・ソフィアはキリスト教で世界最大の礼拝堂であったものを、遷都後改装して、現在世界で４番目の規模のモスクとなっている。歴史の重みを感じさせる荘厳な建物である。夕陽を浴びた風情が印象的であった。

ドルより円に親近感がある

トルコは親日的な国。イスタンブール市内にある有名なショッピングモール「グランドバザール」の規模は圧巻である。しかし裏道に入ると何となく剣呑な感じがして、早々に見物を終えたものである。バザールに限らず、トルコ国内では日本円も通用する。面白いのは12米ドルするものが何故か日本円なら千円で買えるのである。

トルコは世界３大料理国の一つと言われている。しかしMr. Flitによると、フランス、中国のそれは美味しさで有名なのだが、トルコは料理の種類の多さで有名なのだという。日本でも知られているシシ・ケバブを食べみた。本場のものは臭いも強く、家内は手が付けられなかった。味も日本の方が遥かに美味しいと思った。

トルコ旅行は予想以上に楽しく、かつ興味深いものであった。おかげで私の画帳も豊富で大いなる収穫があった。

（ＫＩＦＡ会員・市内鎌ケ谷在住）

We did it エスニック料理と異文化を楽しむ

KIFA 外国家庭料理講習会

初めてのフィリピン料理にチャレンジ

フィリピン　ペルー

ペルー料理の名前覚えましたか？

「あなたはフィリピンやペルーの家庭料理を食べたり、作ったりしたことがありますか？」

いかがですか。鎌ケ谷市国際交流協会（KIFA）では、外国の食文化に親しみ、国際交流を深めるため、２月25日（日）に外国家庭料理講習会を開いた。

当日、南部公民館では、募集に応じた26人の“一日料理人”が、２つの国の家庭料理に真剣に取り組んだ。

講師と料理メニューを紹介しよう。

〔**フィリピン**〕**講師**／小山田ジェンマさんと友人のフィリピン女性２人。**メニュー**／野菜と鶏肉のココナッツミルクのスープ。フィリピン風春巻。野菜たっぷりビーフン。もち米のお菓子。

〔**ペルー**〕**講師**／フリオ・ペーニャさん、ロザリオ・カメコさん夫婦。**メニュー**／コーサレモン（じゃがいもにツナやパセリを混ぜる）、セビチェ（玉ねぎスライスに魚貝類を交ぜ、激辛スパイスを加えた海鮮サラダ）。ペルー風ケーキ。

作って食べて飲んで“美味しい”国際交流

午前10時、料理スタート。フィリピン、ペルー２組に分かれた受講生たちは、どんな料理が出来上がるのか、興味津々に講師の説明に聞き入る。

そして、それぞれ材料に包丁を入れ、混ぜたり、茹でたり、焼いたり、揚げたりして、手を休めるヒマもない。順調に仕上がった料理は、綺麗に盛りつけられた。

第２部は、12時から部屋を変え、作られたばかりの料理を３つのテーブルに並べてのランチョン・パーティ。バラエティーに富む２つの国の料理をみんなで味わう。

講師がこの日の料理を中心に、自国の食文化について語ってくれた。「フィリピンではビコーという、もち米のお菓子はお祝いのときに作ります」とジェンマさん。「３千種類のジャガイモがペルーにある」「ペルーの刺身料理は、日系移民が持ち込んだのが始まり」と、フリオさんは解説し、受講者はうなづく。

手作りのエスニック料理を食べ、異文化に触れた一日であった。

〔KIFA行事のお知らせ〕

お花見バーベキューへのお誘い

サクラの花の下、バーベキューを楽しみながら外国人、青少年、お友だちを誘い合って、交流のひとときを過ごしませんか。

日　時＊4月8日（日）雨天中止
AM11時～PM3時
場　所＊貝柄山公園馬の銅像前
参加費＊KIFA会員＝200円
非会員＝300円

希望者は当日、食材、飲み物など、各自好みのものを持参の上、会場においでください。

2007年度「総会」5月開催

総会は協会の年間行事や予算を決定する大事な会合です。本年は創立20周年記念事業も予定しておりますので、会員多数のご出席をお願いいたします。

日時＊5月20日（日）
AM10時～12時
場所＊鎌ケ谷市総合福祉保健センター・6階ホール

編集後記

首都圏では雪の降らないまま春一番到来の、異常気象つづきです。サクラも３月中に散り果てる？

私たちが快適な暮らしで消費するエネルギーが、温室効果ガスを多量に発生させ、地球温暖化を加速させることが一因ともいわれています。

使い慣れた自動車やエアコンを使う便利生活も根本から見直して環境汚染を食い止めないと、日本の四季がなくなってしまってからでは手遅れです。

鎌ケ谷市国際交流協会は来春、20周年を迎えます。今秋に記念行事を計画しています。この広報紙「ＫＩＦＡ　Plaza」も特別号を発行します。この機会に一般市民にも広く国際交流活動に理解いただき、積極的に参加いただける紙面づくりを心がけていこうと思っています。

協会のホームページとも連動させて、イベント企画参加を広く呼びかけながら、新会員募集拡大にも役立つ紙面づくりを目ざします。（Ｓ・Ｓ）

問い合わせ先　〒273-0195　鎌ケ谷市初富928ー744　鎌ケ谷市国際交流協会　TEL445-1141内線550　FAX441-9400　メールkifa@apricot.ocn.ne.jp